YASKAWA

YASKAWA NEWS

YASKAWA NEWSは
お客さまと安川電機を結ぶ
PR情報誌です。

特集
P.2

世界最先端の技術との連携を深め多様なフィジカルAI市場へ挑戦する



新製品



MOTOMAN-HC12、ほか
P.4～

トピックス・展示会報告



国際ウエルディングショー、ほか
P.8～

事例紹介 …… P.10
豆大福先生に聞いてみようよ! …… P.11
やすかわくんが旅をする! …… P.12
展示会告知 …… P.13
陸上部NEWS …… P.15
日本産業広告賞で振り返る安川電機 ‥裏表紙

WINTER 2026
No. 356

世界最先端の技術との連携を深め
多様なフィジカルAI市場へ挑戦する

安全で豊かな社会の実現に向けて、これまで自動化が難しかった作業領域への適用を可能にする技術として世界的な注目を集める「フィジカルAI」。当社は、AI企業やクラウドベンダー、研究機関などが生み出す最新技術と連携しながら、AIロボット「MOTOMAN NEXT」の適用範囲を広げています。本特集では、フィジカルAIを支える技術の仕組みと、パートナーとの連携・協創によって生まれる新たな価値をご紹介します。



AIロボット MOTOMAN NEXT

「MOTOMAN NEXT」は、フィジカルAI時代に対応するオープンプラットフォームです。AI実行環境とアプリケーション開発に必要な機能をロボット本体に搭載しているため、外部PCや複雑なシステム構成を必要とせず、ロボット単体でAIアプリケーションを実現できます。これにより、導入や開発に伴う負担を軽減しながら、お客さまやパートナーによる新たなアプリケーション開発を支援します。さらに、最新のAI技術やパートナーのソリューションを柔軟に取り込みながら継続的に進化することで、これまで自動化が困難であった作業への適用を可能にし、製造現場における自動化の更なる拡大に貢献します。

CASE 1

SoftBank

柔軟物体ハンドリングへの挑戦

ワイヤハーネスや布、袋など形状が変化しやすい柔軟物体は、従来のロボットでは安定したハンドリングが困難でした。
ソフトバンク株式会社の「AIデータセンター GPUクラウド」を活用し、VLAによる柔軟物の把持・搬送までの実証に成功しています。

技術のポイント

- ソフトバンクのAIデータセンター GPUクラウドを活用
- VLA（Vision-Language-Action）技術を採用
- 形状が変化する柔軟物体を安定して搬送



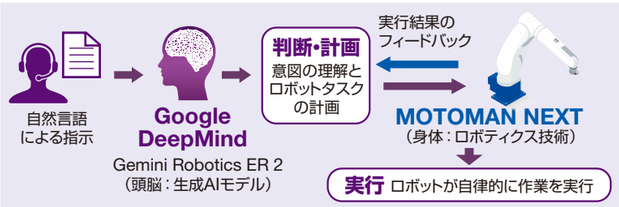
CASE 2

「Gemini Robotics ER 2」を活用したエージェンティック・ロボットシステム

AIロボット「MOTOMAN NEXT」にGoogle DeepMindの「Gemini Robotics ER 2」モデルを連携させることで、生成AIによる高度な判断（頭脳）から、現場での緻密な物理動作（身体）までを一貫して実現します。

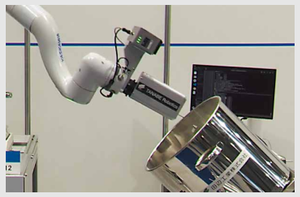
システムの特長

- 生成AIが自然言語による指示からタスクを計画
- 環境の変化に柔軟に対応
- ロボット自らが自律的に作業を実行
- 作業結果を評価し、次の行動に反映



（注）Geminiは、Google LLCの商標です。

パートナーとの連携・協創によるMOTOMAN NEXTの社会実装事例の紹介



田辺工業株式会社

粉体計量作業

不定形で扱いが難しい粉体の計量作業を、AIと3Dカメラで自動化する粉体計量ソリューション。すくい取りから微量調整、準備・片付けまでを自動化し、高精度かつ安定した計量を実現します。



株式会社エイアイキューブ

青果の向きそろえを自動化

AIビジョンが青果の位置や向きを正確に認識し、ピッキング優先順位や把持方向などの最適な動作経路を自動生成。青果の向きを自動で補正し、装置投入に適した状態へ整列します。



株式会社エイアイキューブ

物流工程自動化ソリューション

カメラで段ボールの形状を認識し、ロボットが切断位置と方法を自動で判断します。更に一定の力で押し当てながらカットすることで、変形した段ボールの凹凸にも柔軟に対応します。



サクラ精機株式会社

手術器具の洗浄前ピッキング

手術器具の種類を識別し、優先順位を判断したうえで、仕分けから洗浄装置への投入・取出しまでを自動で行います。これにより、汚染された器具からの感染リスクや、切創リスクの低減に貢献します。



久保田 由美恵

株式会社安川電機
取締役 執行役員・技術開発本部AIロボティクス統括部長

当社が、1977年に日本初の全電気式産業用ロボット「MOTOMAN」を世に送り出してから50年、そして2023年に新シリーズとなるAIロボット「MOTOMAN NEXT」をリリースしてから3年が経過しました。この3年でフィジカルAIという言葉が大きく取り上げられ、ロボットでのAI活用が加速しています。
この技術の進化とスピードは、すでに一企業だけで対応し続けられるものではありません。
やりたいことを一緒に実現できる方々と連携し、最先端の技術を活用しながら、これからも自動化領域拡大に取り組み、市場の期待に応えていきましょう。

様々なパートナーとの
連携・協創事例をチェック!

■ お問い合わせ先
コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課
TEL：093-588-3076

新製品

安全性と生産性の向上を両立し、更に使いやすく進化した人協働ロボット

人協働ロボット MOTOMAN-HC12



人協働ロボット
MOTOMAN-HC12

多くのお客さまからご好評をいただいている人協働ロボット「MOTOMAN-HC10DTP」の後継機種として、安全性と生産性の向上を両立し、設置性や使いやすさを高めた「MOTOMAN-HC12」（可搬質量12kg、最大リーチ1410mm）の販売を2026年8月31日から開始しました。

近年、深刻化する労働力不足を背景に、ロボットを使用した自動化ニーズが高まっており、特に導入が容易な人協働ロボットの適用が広がっています。「MOTOMAN-HC12」は、スリムなアーム構造と本体質量の軽量化に加え、自社内製センサーを採用することで、安全性と生産性の向上を実現しました。更に、設置性や操作性も高め、お客さまの生産性向上や製造コスト削減に貢献します。

様々な工程の自動化に対応



安全性と生産性の向上を両立

- 自社内製センサーにより、衝突時などのロボット反応速度を向上
- 人と協働する環境でも、高い作業速度を維持しながら衝突時の影響を低減
- スムーズで直感的なハンドガイド操作を実現

優れた設置性でレイアウトの自由度を向上

- スリムでコンパクトなアームデザインによって狭い領域へのアクセスが可能
- フットプリントはφ170mmを実現し、従来機種「MOTOMAN-HC10DTP」（φ275mm）と比較して省スペース化

アプリケーション用ケーブルを標準内蔵

- イーサネットケーブル（Cat6A対応）を含むアプリケーション用ケーブルを内蔵
- 外部装置とのケーブル干渉を回避
- 手首部分まで装備しているため、ハンドとの接続が容易

（注）人協働用途でご使用の場合にはリスクアセスメントを実施し、適切な安全対策をとる必要があります。

使いやすさ、安全性を追求した
人協働ロボットをチェック!

■ お問い合わせ先
ロボット事業部 事業企画部 製品戦略課
TEL : 093-645-8134

新製品

ロングリーチで独自の軸構造により、フレキシブルで高品質塗装を実現したロボット

新型7軸大型塗装ロボット MOTOMAN-PA3050HB



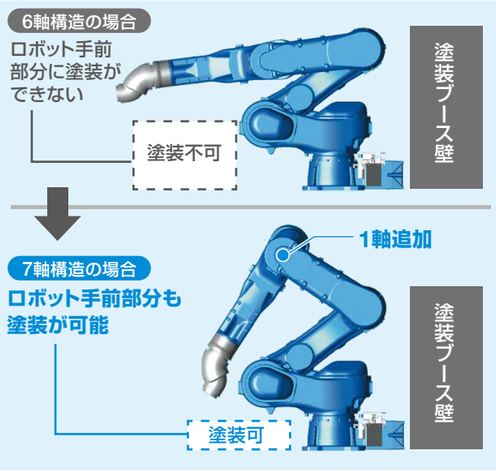
新型7軸大型塗装ロボット
MOTOMAN-PA3050HB

自動車ボディーをはじめとする大きなワークを塗装する場合には、最大リーチが長いロボットが必要です。従来の6軸構造のロボットでは、リーチを長くするとアームも長くなるため、ロボット手前部分の塗装時に適切な作業姿勢を確保しにくくなるほか、ロボット後方にある塗装ブースの壁などと干渉する恐れがあるというジレンマがありました。

「MOTOMAN-PA3050HB」は、業界最大クラスとなる3050mmのロングリーチを備えながら、上腕部に曲げ軸を追加した独自の7軸構造を採用し、各アーム長のバランスを最適化しました。その結果、ロボット手前側の塗装に適した姿勢を確保できるほか、塗装ブースなどの周辺設備との干渉を回避しながら作業を行うことができます。

業界最大クラスとなる3050mmのロングリーチ

7軸構造によりロボットの手前部分にも塗装が可能



独自の軸構造による高いアクセス性能

1-2軸（S-L軸）を500mmオフセットすることで、ワークに対しマニピュレータを高い位置に設置した場合でも優れたアクセス性能を発揮。更に、Uアームに曲げ構造の冗長軸を追加することで、より自由度の高い動作が可能です。

広い動作範囲と省スペース化

ロボットをコンパクトにレイアウトでき、省スペース化を実現。塗装ブースの小型化により、ブース空調に伴うCO_2排出量の削減とランニングコストの低減に貢献します。

塗装機器の高度な制御が可能

高機能ロボットコントローラYRC1000により塗装機器の制御が可能。塗装に特化した機能により吐出量・高電圧・エア条件などの塗装条件をロボットプログラムにて直接制御可能です。

フレキシブルで高品質塗装を
実現したロボットをチェック!

■ お問い合わせ先
ロボット事業部 事業企画部 製品戦略課
TEL : 093-645-8134

新製品

シリーズ最速の処理性能と最大256軸のサーボモータの制御が可能なCPUユニット

MPX1000シリーズ（CPU-14U、CM-EC02/CM-EC02M）

当社は、マシンコントローラ「MP3000シリーズ（MP3200/MP3300）」の後継製品として、機械・装置の高速化と生産性向上を実現する「MPX1000シリーズ」を製品化し、多くのお客さまに採用いただいています。近年は製造現場の自動化の進展に伴い、機械・装置は周辺の搬送を含めた複数の工程を取り込み、更なる多機能化・多工程化が進んでいます。そのようなニーズにお応えするため、アプリケーション処理性能を大幅に向上させるとともに、CPUのみで最大256軸のサーボモータを同期制御できるCPUユニット「CPU-14U」を製品化しました。

更に、近年の半導体製造等で標準的に使用されているフィールドネットワークEtherCATのSubDevice通信ユニット/モジュール「CM-EC02/CM-EC02M」を製品化しました。これにより、高速・高精度なモーション制御が必要な部分を「MPX1000シリーズ」にて構築し、EtherCAT経由で上位コントローラと接続するなどシステム構成の自由度が向上します。



マシンコントローラMPX1010



CPUユニット
CPU-14U



EtherCAT
通信ユニット
CM-EC02



EtherCAT
通信モジュール
CM-EC02M

CPUユニット「CPU-14U」の特長

アプリケーション処理性能の向上

高速なマルチコアプロセッサの採用により、アプリケーション処理性能が向上しました。
（MPX1000シリーズ CPU-12U比:1.5倍、MP3300 CPU-301比:12倍）

最大制御軸数の拡大

MECHATROLINK-4を4回線備え、最大256局のサーボドライブおよびI/O機器を接続できます。また、モーションユニット「SVF-12」を取り付けることで、最大640軸のサーボモータを同期制御できます。
（電源ユニットPSA-01または、PSD-01を2台使用時）

MPX1010は、高速・高応答・同期制御を追求する装置や、制御軸数の多い装置に最適です。

- 半導体製造装置
- 液晶製造装置
- 電子部品組立装置
- 金属加工機械
- 産業用ロボット
- 二次電池製造装置

マシンコントローラ「MPX1000シリーズ」の特長

「MP2000/MP3000シリーズ」とユーザーアプリケーション互換

前シリーズである「MP2000/MP3000シリーズ」のユーザーアプリケーションを使用することができます。また、MECHATROLINK通信はMECHATROLINK-4とMECHATROLINK-Ⅲを切り替えられるため、「MP2000/MP3000シリーズ」から容易に置き換えられます。

（注）EtherCATは、Beckhoff Automation GmbH の商標です。

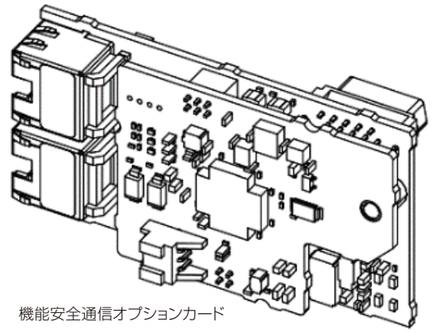
シリーズ最速の処理性能を誇るマシンコントローラをチェック!

■ お問い合わせ先
モーションコントロール事業部 事業企画部 事業企画課
TEL：04-2962-5470

新製品

安川インバータの機能安全対応を強化し、安全性向上と設備構築の効率化を実現

機能安全通信オプションカード（JOHB-NSC3-MA）



機能安全通信オプションカード



安川インバータ
GA700、CR700、GA500

近年、製造業では自動化やデジタル技術の活用が進展し、機械・設備に対する安全性への要求が高まっています。特に欧州市場では機能安全規格への対応が必須となっており、安全機能を備えた設備構築のニーズが拡大しています。従来の安全システムでは、非常停止スイッチや安全リレーを用いた個別配線が必要となるため、設計・配線工数や設備コストの増加が課題となっていました。

本製品は、安川インバータ「GA700」、「GA800」（米国のみ販売）、「CR700」および「GA500」シリーズに対応し、STO（Safe Torque Off）およびSS1-t（Safe Stop 1-time controlled）の安全機能をEtherNet/IPネットワーク上で実現します。既存のEthernet通信を活用した機能安全システムに比べ、省配線化、設計工数削減、設備の立上げ期間短縮を実現し、お客さまの設備の安全性向上、システムコスト削減およびスマートファクトリー化に貢献します。

安全通信規格「CIP Safety」に対応

EtherNet/IPベースの安全通信規格「CIP Safety」に対応し、安全信号のネットワーク伝送が可能です。これにより、従来必要だった安全信号の個別配線を大幅に削減できます。

省配線化とシステムコスト低減

外部安全リレーや安全回路を削減できるため、制御盤の省スペース化と配線工数削減を実現します。また、設計工数の削減および立上げ期間の短縮にも貢献します。

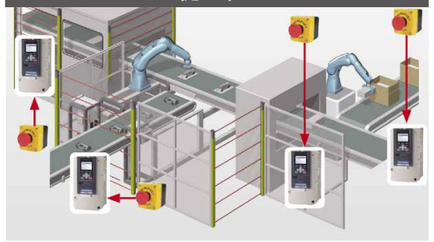
可変速電動ドライブシステムの機能安全に関する国際規格「IEC 61800-5-2」に準拠した安全機能を搭載

IEC 61800-5-2に準拠した安全機能を実現します。

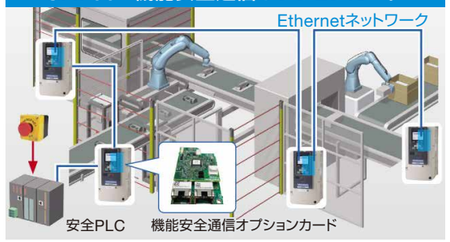
自動化生産ラインなど安全機能を必要とする各種産業機械に最適です。

- 搬送用コンベヤ
- 包装機械
- 工作機械
- ロボットシステム

従　来



GA700+機能安全通信オプションカード



（注）EtherNet/IPは、ODVA,Inc.の商標です。Ethernetは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の商標です。

安全性向上と設備構築の効率化をチェック!

■ お問い合わせ先
インバータ事業部 ソリューション戦略部 販売推進課
TEL：0930-25-2548

トピックス

製造現場の未来を切り開く、最新のモーション制御の進化を体感

ものづくりワールド[福岡] 機械要素技術展　出展のご案内

第4回 ものづくりワールド 福岡

2026年12月2日(水)～12月4日(金)にマリンメッセ福岡にて開催される、ものづくり ワールド [福岡] の「機械要素技術展」に出展します。MECHATROLINK協会（MMA）ブースでは、ものづくりの現場を支えるソリューション技術「MECHATROLINK」と導入メリットをデモ機を使って詳しくご紹介します。

また、当社を含む協賛企業による展示と説明コーナーも設置されますので、ご来場をお待ち申し上げております。

会期 2026年12月2日(水)～4日(金)　**会場** マリンメッセ福岡　**小間番号** 1-23

協賛企業 オリエンタルモーター株式会社／CKD日機電装株式会社／シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社／株式会社システック／神港テクノス株式会社 ★／株式会社安川電機 ★／横河電機株式会社
★…ブース内でのデモ展示、説明員あり

入場料 1,000円
上記QRコードからの事前登録で入場無料になります

MECHATROLINK協会とは？

安川電機が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために、2003年にオープン化し発足された組織です。製品開発メンバーおよびユーザーで構成されています。安川電機を含む、幹事会社8社を中心に運営されており、約3,700社の会員企業が参画しています。

産業オープンネット展2026　展示会出展レポート





MMAは、大阪および東京にて開催された「産業オープンネット展2026」に出展しました。ブースでは、MECHATROLINK-4とΣ-LINK IIの特長と機能のご紹介を実機デモンストレーションでご紹介しました。また、出展者によるセミナーや特別企画展示も開催されました。

ネットワーク団体および出展企業のセミナー動画が期間限定で公開しております。(公開期間:12月25日まで)

期間限定の
無料セミナーをチェック!

■ お問い合わせ先
モーションコントロール事業部 ソリューション技術部 パートナ拡大推進課
TEL : 04-2962-6359

展示会

生産性向上、品質安定化、省人化に貢献する最新のソリューションを展示

2026国際ウエルディングショー　展示会出展レポート



i³-Mechatronicsで新たな価値をリアルな“かたち”に

2026年9月16日(水)～9月19日(土)に東京ビッグサイトで開催された「2026国際ウエルディングショー」に出展。「i³-Mechatronicsで新たな価値をリアルな“かたち”に」をメインテーマに掲げ、これまで培ってきたモーションコントロール技術を基盤に、溶接・接合工程における生産性向上、品質安定化、省人化に貢献する最新のソリューションをご提案しました。本展示会には4日間で9万人を超す来場者があり、当社ブースにも大勢のお客さまにご来場いただきました。



次世代の溶接ソリューション
MOTOWELD-AX350

溶接中の波形データを解析して最適な制御パラメータを自動設定するQuick Setup機能や、溶接状態に応じてリアルタイムにアーク制御を行う新波形制御により、低スパッタで安定した溶接品質を実現します。



熟練工の技を実現する
AIロボット MOTOMAN NEXT-NHC12

溶融池の状態やトーチ姿勢など、溶接状況に応じた判断をAIロボットで行い、造船や建築・鉄骨・プラント・配管工事・多品種少量の産業機械など、人の技能に支えられている溶接作業の自動化を実現します。



半自動溶接システム
展示協力：新東スマートエンジニアリング株式会社



フレキシブルスポット溶接セル



高性能で使いやすい新型人協働ロボット

最新のソリューションを紹介した
展示会の詳しい内容をチェック!

■ お問い合わせ先
ロボット事業部 事業企画部 販売推進課
TEL : 093-645-7715

事例紹介

人協働ロボットで実現する省人化
～有限会社ヤスダヨーグルト～



飲むヨーグルトのパレタイジング

新潟県に本社を置く有限会社ヤスダヨーグルトは、生乳のおいしさにこだわった飲むヨーグルトをはじめとする乳製品の製造・販売を行っています。同社では、商品の入った段ボールを運搬用カゴ台車へ積み付ける工程に、人協働ロボットを活用した安川グループ・株式会社FAMSのパレタイジングシステム「CoboPal」を導入。人手不足の解消と作業者の負担軽減を実現しています。

課題　人手不足と重労働の負担を軽減したい





ヤスダヨーグルトでは生乳にこだわった製品づくりを行っているため、商品の賞味期限は約20日前後と比較的短く、工場は365日体制で稼働しています。その一方で、立地条件などの影響もあり、人材確保が継続的な課題となっていました。また、飲むヨーグルトが入った段ボールは、1箱約5.4kgもあり、作業者の身体的負担が大きい工程でした。

ソリューション　人協働ロボットを活用したパレタイジングシステムを導入



パレタイジングシステム「CoboPal（コボパル）」＋人協働ロボット「MOTOMAN-HC20DTP」を採用することで、大規模なレイアウト変更を行うことなく、省スペースで自動化を実現。また、サイズや材質が異なる複数のカゴ台車も問題でしたが、台車ごとの特性に合わせたセンサーを選定することで、異なるカゴ台車への段積みを実現しました。


人の手でヨーグルトを段ボールに詰めます。


段ボールの封をする機構を通過してロボットの前に運ばれます。


ロボットが段ボールを吸着し持ち上げます。



カゴ台車の種類に合わせ、最適な位置で段ボールを積み上げます。

導入効果

人手不足の解消	作業者の負担を軽減
実質作業員2名分に相当	約5.4kgの段ボールを積み上げる作業から解放



お客さまの声

当社製品は賞味期限が短く、工場は年中無休で稼働しているため、人手不足が課題でした。そこで、パレタイジングロボットを導入。限られたスペースや複数のカゴ台車への対応などの課題はありましたが、担当者と改善を重ねた結果、現在は安定稼働を実現しています。今後は人協働ロボットを使用したケーサーシステムを導入予定です。

今回紹介した事例に使われている製品



MOTOMAN-HC20DTP

人とロボットが同じ作業空間で協働できる人協働ロボットです。安全柵が不要なため、省スペースで導入でき、既存設備への後付けも容易。食品製造現場をはじめ、多様な自動化ニーズに対応します。

多様な自動化ニーズに対応する
人協働ロボットをチェック!

■ お問い合わせ先
製品・技術情報サイト e-メカサイト お問い合わせ
https://www.e-mechatronics.com/contact/

安川電機技術コラム

豆大福先生に聞いてみようよ!

豆大福が大好きな通称“豆大福先生”が、安川電機の製品にまつわる疑問や業界のトレンドを分かりやすく解説します。



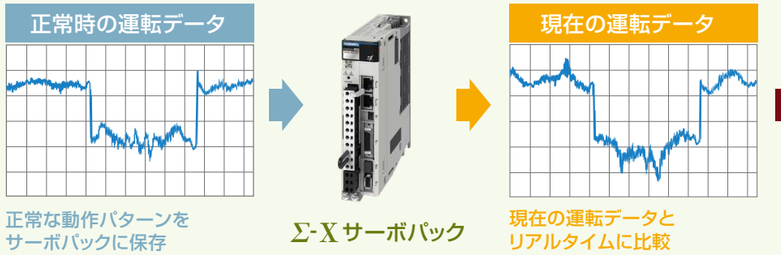
第2回　サーボが設備の異常を見つける?
～Σ-Xで実現する“止まらない工場”への第一歩～



近年、製造業のキーワードとなっている「スマートファクトリー」。デジタル技術を活用し、生産ラインや装置のデータを収集することで、効率的かつ安定した生産を目指す工場のことです。しかしデータ収集と聞いて、何から始めればよいか分からない・装置設計の変更が不安という方も多いかもしれません。今回は最新のACサーボドライブΣ-Xシリーズによるデータ収集・活用の方法をご紹介します。

① 異常検知機能　～サーボが設備の「いつもと違う」を検出～

Σ-Xの異常検知機能は、あらかじめ記録した正常時の運転データと、実際運転データを比較し、振動や動作特性の変化から設備の異常を検出します。



② サーボモータがセンサーになる

Σ-Xのもう一つの特長は、サーボモータそのものをセンサーとして活用できることです。従来のように装置へ新たなセンサーを追加しなくても、モータの状態や負荷情報、振動情報などを利用してデータ収集が行えます。



③ Σ-LINK IIで広がるデータ活用

Σ-LINK IIセンサハブを介して各種センサーを接続し、Σ-Xサーボモータのデータと同期した情報を同時収集できます。サーボ周期に同期した高品質なデータ取得により、データ処理工数の削減に貢献します。



豆大福先生のポイント



Σ-Xは、サーボモータ自身をセンサーとして活用し、正常時との違いから設備の異常兆候を検出できます。さらに、Σ-LINK IIとの連携により多様なセンサーデータを同期収集し、突発停止の予防や品質向上、保守効率化に貢献します。

Σ-Xで実現する
“止まらない工場”をチェック

■ お問い合わせ先
モーションコントロール事業部 事業企画部 事業企画課
TEL：04-2962-5470

やすかわくんが旅をする！ 第2回

全国の安川グループの拠点をぼくが訪ねて、みんなに紹介するコーナー！
第2回は埼玉県さいたま市にある「関東ロボットセンタ」に行ってきたでやす。

関東ロボットセンタ

埼玉県さいたま市北区宮原町

関東ロボットセンタは「来て・見て・触ってロボット体験」をコンセプトに、産業用ロボットMOTOMANを使って、お客さまの課題解決や新たな自動化への活用方法を探求する施設です。



来て！ 見て！ 触って！

最新ロボットを体験

カストマソリューションプラザ（CSプラザ）



アプリケーションを組み込んだデモ機や新型ロボットが勢ぞろい！いろいろなロボットの動きを間近で見て、最新の自動化ソリューションを体験することができます。

お客さまの課題解決をお手伝い

ソリューションテストエリア



お客さまのワークを使ったソリューションテストができるエリア。多種多様なロボットを完備しているので、導入前の検証や課題の確認をすることができます。

サポート体制も充実しているでやす！





ユーザースクール
産業用ロボットMOTOMANを使用した様々な教育カリキュラムをご用意しています。



テクニカルフォーラム
拡販パートナーやシステムインテグレータの方に向けて、最新のロボット・周辺機器・アプリケーションなどの情報を発信するフォーラムを開催しています。

課題解決をお手伝い！最新のソリューションを体感できる施設でやす！

ロボットのご検討からソリューションテスト、アフターサービスまで、万全の体制を整えているでやす。まずは皆さんお気軽に、関東ロボットセンタへ行くでやすよ～!!



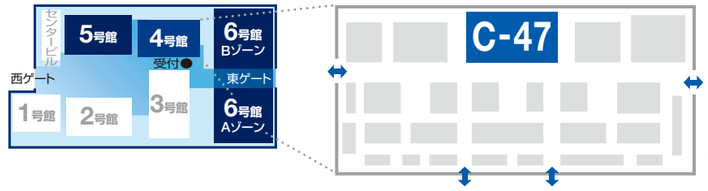
※見学やテストをご希望の場合は、当社拡販パートナーもしくは営業までご連絡ください。

お客さまの課題解決や新たな自動化への適用方法を詳しくチェック!



ROBONEXT 2026

会　期　2026 12.2（水）-4（金）
開催時間　10:00～17:00　※最終日12/4は16:00まで
会　場　インテックス大阪 4号館、5号館、6号館A/B



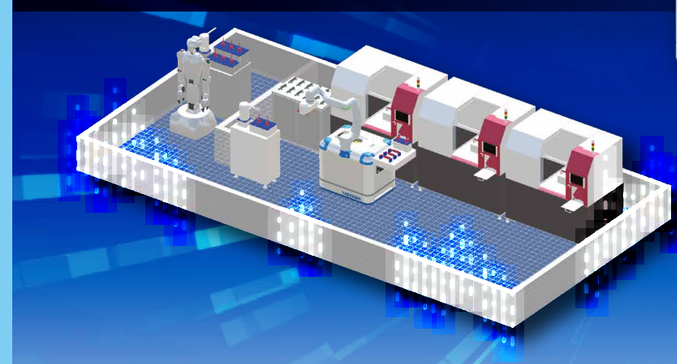
〔4号館 案内図〕
安川電機ブース

入場の事前登録はこちらから
本展示会の入場登録には「日刊工ID」が必要です。

AIロボットの“実践”と“進化”、そしてその先にある“未来”

止まらない生産を支える自律型加工ライン

～『賢い頭脳』を、『賢い身体』が支える～
AIが判断し、ロボットが学び進化する次世代生産システム





Mobile AI Cobot



ヒューマノイドロボット
Torobo



AIロボット
MOTOMAN NEXT-NEX10

主な出展品・ソリューション

- AIエージェント活用による多品種梱包作業の自動化
- すぐに使えるAI物流ロボットパッケージ
- すぐに使えるAI青果ハンドリングパッケージ
- 粉体秤量ロボットシステム
- VLA×模倣学習によるフィジカルAI体験
- MOTOMAN NEXTプラットフォーム



双腕AIロボット
MOTOMAN NEXT-NHC10DE



人協働AIロボット
MOTOMAN NEXT-NHC12

止まらない生産を支える出展品・ソリューションをチェック!

■ お問い合わせ先
ロボット事業部 事業企画部 販売推進課
TEL：093-645-7715

SEMICON® JAPAN

フィジカルAIで進化する半導体製造の次世代ソリューションをMOTOMAN NEXTとスマートEFEMで実現

モーション・ロボット・ドライブ・サービスを融合し、半導体製造の自動化、高精度化、安定稼働に貢献する最新の先進技術を幅広くご紹介します。

2026年
12月9日(水)～11日(金)
10:00～17:00

東京ビッグサイト

安川電機ブース
E3048(東3ホール)

次世代の半導体製造へ ～超精密・超高精度技術の提案～

ロボット「SEMISTAR-GEKKO MD124D」での装置スマート化によるデータ活用・予兆検知デモを実演します。また、ナノレベルの位置決めと非接触・パーティクルレスを実現する6自由度磁気浮上アクチュエータや、高速・高精度・高同期制御を実現するモーション製品を展示。半導体製造装置の安定稼働、歩留まり向上、高付加価値化に貢献するモーションソリューションをご提案します。



大気環境向け半導体ウエハ搬送用ロボット
SEMISTAR-GEKKO MD124D



ACサーボドライブ Σ-Xシリーズ

フィジカルAIロボティクスソリューション ～生産・メンテナンスの自動化提案～

双腕AIロボット「MOTOMAN NEXT」による熟練メンテナンス作業の自動化デモを実演。人材不足への対応、作業品質の安定化、安全性向上に貢献します。更に、インバータによる省エネ・設備予防保全、グローバル展開しているアフターサービスにより、止まらない工場づくりに貢献します。



双腕AIロボット
MOTOMAN NEXT-NHC10DE



小型・高機能インバータ GA500



エコPMモータ フラットタイプ

第11回 スマート工場 EXPO SFE

AI・DXによる生産効率化展

2027年
2月17日(水)～19日(金)
10:00～17:00

東京ビッグサイト

生産現場から経営課題を解決するソリューション



変種変量生産 **品質の安定化** **安定稼働**
スマートファクトリー **省スペース・省配線** **省エネ**

i³-Mechatronics を具現化したデモ機
(自動化ソリューションとデジタル技術を融合したセル生産)

YRMコントローラによって自動化・制御されたセル生産によるデモンストレーションをご紹介いたします。経営課題の解決に向けた具体的なソリューションを、是非会場にてご覧ください。

■フィジカルAIを具現化するロボット
MOTOMAN NEXTシリーズ

■シンプルなエンジニアリングで変種変量生産に対応
YRMコントローラシリーズ

■カーボンニュートラルは省エネから
安川インバータGAシリーズ+PMモータ



MOTOMAN NEXT シリーズ



YRMコントローラシリーズ



PMモータ

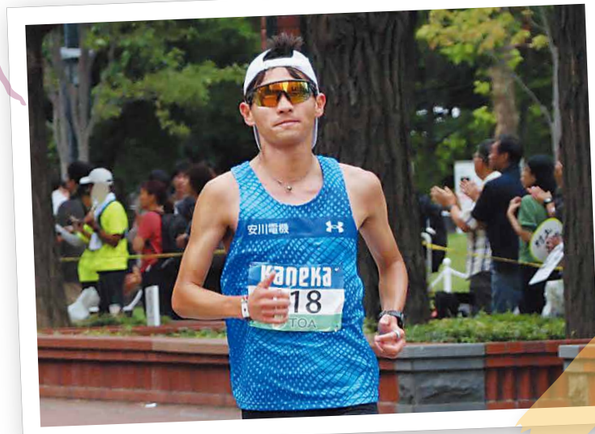


安川インバータ GAシリーズ

陸上部 NEWS

夏の強い日差しの下で積み重ねてきた努力が、少しずつ実を結ぶ季節となりました。

8月末には大畑和真選手が北海道マラソンに出場しました。有力選手が集うハイレベルなレースとなる中、最後まで強い粘りを見せ、今後のマラソンにつながる貴重な経験を積むことができました。



マラソンへの挑戦を続ける大畑和真選手



今シーズン大きく飛躍したヴィクター選手。更なる飛躍を目指します。

9月初旬に開催された第74回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会では、1500mに出場した新人の吉中祐太選手が鋭いラストスパートを披露し、組1着でフィニッシュしました。漆畑瑠人選手も持ち味である安定したレース運びを見せ、実力を発揮しました。5000mでは平島龍斗選手が1組目で1着となり、後に行われた2組の日本人選手を含めても最上位となる好走を見せ、日本人選手トップの成績を収めました。菅野裕二郎選手も積極的なレースを展開し、全国レベルの舞台で力を発揮しました。

また、9月末に開催された第25回NITTAIDAI Challenge Gamesでは、キプタム ヴィクター選手と鈴木創士選手が自己ベストを更新しました。ヴィクター選手は5000mにおいて今シーズン5度目の自己ベスト更新となり、着実な成長を続けています。鈴木選手は昨年のケガを乗り越え、2年ぶりとなる自己ベスト更新を達成しました。阿部陽樹選手も自己ベストにはわずかに届かなかったものの、好調の兆しを感じさせる走りを見せました。

11月にはいよいよ駅伝シーズンが開幕します。これまでのトラックレースや夏場の走り込みで得た経験を糧に、チーム一丸となって更なる飛躍を目指してまいります。

引き続き選手への温かいご声援をよろしくお願いいたします。





全日本実業団対抗陸上競技選手権大会では新人選手たちが活躍しました!

ピックアップ選手!



鈴木 創士選手

チーム屈指の実力を誇る鈴木選手。昨シーズンはケガに苦しみ、本来の力を発揮できない状況が続きましたが、地道なリハビリとトレーニングを積み重ねてきました。今シーズンは順調に練習を重ね、9月のレースでは1年半ぶりに5000mの自己ベストを更新。駅伝シーズンでの活躍に期待が高まります。



9月のレースでは1年半ぶりに自己ベストを更新できました。昨年はケガでなかなか走れず悔しい思いをしました。今年はその悔しさを糧に駅伝で活躍できるよう頑張ります。
応援よろしくお願いします!

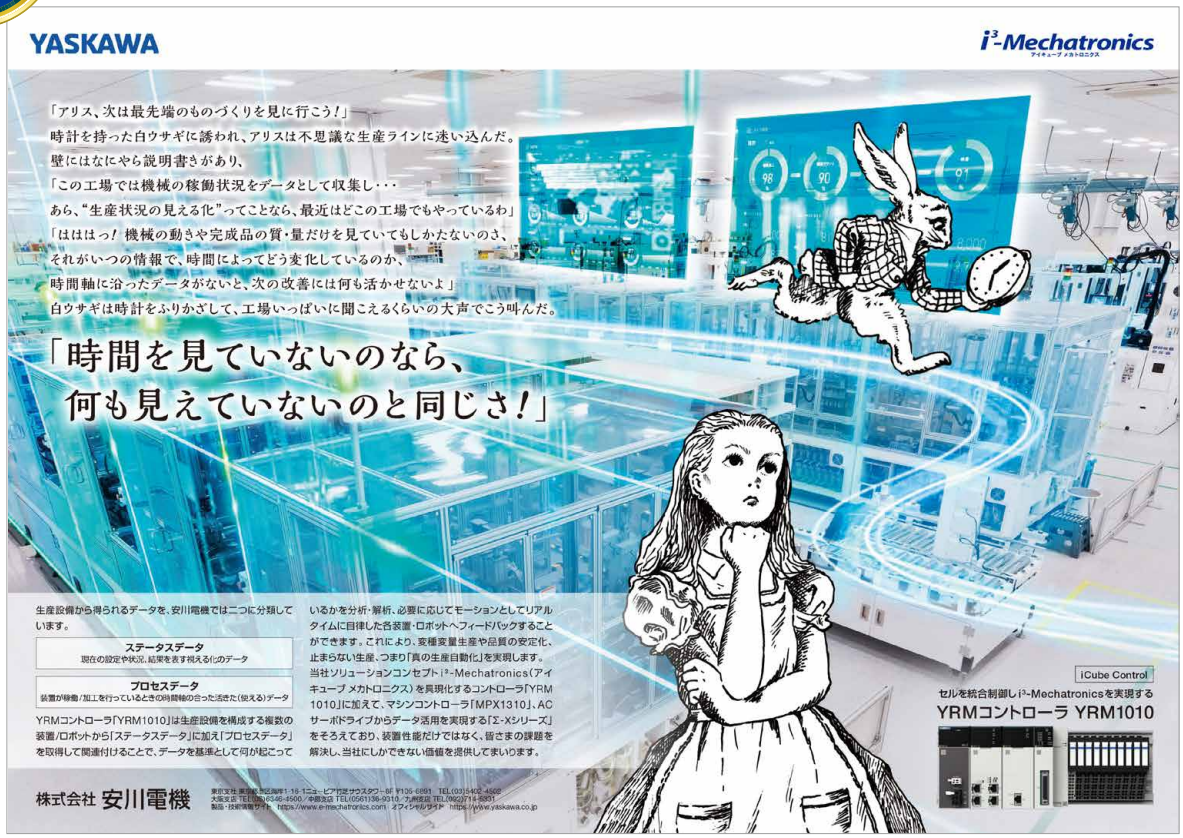
詳しいスケジュールや大会結果を
陸上部公式サイトでチェック!

日本産業広告賞で振り返る 安川電機

産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的として、日刊工業新聞社が主催で開催している「日本産業広告賞」。1966年に制定された、日本を代表する産業広告賞です。このコーナーでは、日本産業広告賞において、当社が受賞した作品を振り返るとともに、掲載された製品をご紹介します。連載第2回の製品は、YRMコントローラ「YRM1010」です。

連載 第2回

第59回 日本産業広告賞（2024年） 情報誌部門 第一席



審査員選評

一目見て「思い切った作品」だと感じた。8/4ページを大胆に使った広告の内容は「不思議の国のアリス」のパロディ。すぐそれと分かる白うさぎとアリスのイラストは、生産財の情報が並ぶ雑誌の中では極めて異質でさぞ目立つことだろう。アリスと白うさぎの掛け合いが「アリスらしさ」を保ったまま、きちんと同社の製品の特長をアピールしていることで、広告としての役割もきちんと果たしている点も秀逸だと思う。



YRMコントローラ YRM1010

YRMコントローラは、「セルの統合制御」と「時系列がそろったデータ収集」を実現する新しいコンセプトのコントローラです。更に、そのデータを格納・分析・解析を一括して行えるソフトウェアツール「YASKAWA Cockpit」と連携させることによって、リアルタイムに解析した結果をセルの動きにフィードバックすることが可能です。これにより、複数の工程を統合した製造単位と定義している「セル」全体をデータ基準で統合的に制御することが可能となります。

新しいコンセプトの
コントローラをチェック!

■ お問い合わせ先

モーションコントロール事業部 事業企画部 事業企画課
TEL：04-2962-5470

YASKAWA NEWS

YASKAWA NEWS No.356
次号 2027年2月 発行予定　既刊号はオフィシャルサイトで公開中
発行日：2026年11月18日
発行所：株式会社 安川電機
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階 TEL: 03-5402-4502
編集責任者：営業本部 事業開拓部 橋木 邦明　制作：安川オビアス株式会社